

### 10連休中の柔軟な対応を要望

#### ★市民生活への影響を最小限に！

Q. 今年は今上陛下のご退位、現皇太子殿下の新天皇陛下へのご即位があり、これに伴い、ゴールデンウィークが10連休となる。休業日が連続することで、市民生活に悪影響を及ぼさないよう、行政業務は柔軟に対応すべきではないか？

A. 図書館や体育施設は開館を基本とし、臨時的な休日対応として、住民票など各種証明書の交付や住所変更の手続きなどの窓口業務は、期間中に1日、市立豊中病院の外来診療業務は、期間中に2日、実施する予定。今後も引き続き、市民のニーズを踏まえ、必要となる対応を進めていく。

(要望) 窓口業務や市立豊中病院での外来対応については高く評価するとともに、市民生活への影響を最小限に抑えるため、引き続き、市民ニーズを的確に把握し、柔軟に対応して欲しい。

### 道路損傷等通報アプリ

#### 『まちカメくん』の運用拡大を要望

#### ★生活上の課題や不具合をアプリで気軽に投稿を！

Q. 平成29年10月に運用が開始された『まちカメくん』だが、これまでの利用状況は？

A. 本年1月末までの登録者数は1019人、通報件数は450件。通報内容で多い事例としては、舗装に関する通報が102件と全体の約4

分の1を占めているほか、照明施設に関する通報が68件、カーブミラーに関する通報が56件、その他、側溝、車止め、路面標示の不具合などが186件で、道路に関するものが全体の約9割を占めている。

Q. 道路の不具合以外にも、生活上で支障や課題と思われる事例に遭遇したり、発見したりすることがある。道路の不具合と同様に、このアプリを活用して、市民の方々に通報して頂くことで、市として気付かなかった課題や問題に迅速に対応できるとともに、市民にとっても利便性が向上すると思うが、アプリの運用拡大はできないか？

A. 運用の拡充については、関係部局と調整を進めており、平成31年4月から新たに複数の課が参画する予定。これにより、水路の損傷、公園遊具の破損、ごみの不法投棄、舗装の下からの漏水などの不具合にも対応が可能となり、市民サービスの上につなげると考えている。

(意見) まだまだアプリの存在を知らない市民が少なくないように思う。より多くの方にアプリを活用して頂くことで、職員の更なる事務負担の軽減や通信費等の経費の削減なども図れると思うので、運用拡大に合わせて、より多くの方々にアプリの存在を知って頂くとともに、市に対する通報は、なるべくアプリを使用して行って頂けるよう、周知、啓発に一層、力を入れるべき。

【App Store】



【Google Play】



豊中市道路損傷等通報アプリケーション

『まちカメくん』ダウンロード

※本アプリケーションの利用料は無料ですが、ダウンロード及び利用に伴う通信料金は利用者のご負担になります。

### 生ごみの焼却処理量の抑制を提案

#### ★デイスポーザの設置推奨を！

Q. 『デイスポーザ（シンクの下に設置可能な生ごみ粉碎機）』を使用すれば、生ごみを家庭内に溜めず、常に排出処理できるため、虫や悪臭などの発生の防止、高齢者等のごみ出しの負担軽減、生ごみの焼却処理量の大幅削減、収集運搬や焼却処理に要する経費の削減など様々なメリットが考えられる。生ごみの排出量の抑制を目的に、デイスポーザの設置補助制度を創設できないか？

A. デイスポーザの普及については、将来に渡り維持管理が適切に行われれば問題はないと考える。デイスポーザの設置による生ごみの減量効果等は期待できるが、その設置の推奨や補助制度の構築に関しては、他市の実施状況等を調査、研究していく。

(要望) デイスポーザの使用については、将来の維持管理が適切に行われていれば、問題はなく、生ごみの減量効果が期待できると認識しているのであれば、デイスポーザの設置推奨や補助制度の構築を積極的に進めるべき。

### 子どもの居場所の拡充を要望

#### ★児童館的機能の充実を！

Q. 子育て世代の市民からは「豊中には児童館はないのですか？」という声をよく耳にする。放課後子どもクラブなどではない、小学生程度を対象とした児童館的機能について市はどのように考えているのか？

A. 子どもの居場所については、地域力を生かした身近な場所での安全・安心な居場所づくりとして、学校を拠点とした地域子ども教室をはじめ、子ども食堂を軸とした「子どもの居場所づくり地域福祉モデル事業」や放課後の居場所づくりなどに取り組んでいる。また、現在実施している「子どもの居場所づくりに関する地域資源調査」の結果などを踏まえ、地域の状況に応じた居場所づくりや全学的なネットワークづくりを進めていく中で、児童館的機能についても検討していく。

(要望) 子どもの居場所に対するニーズはますます高まっていくと推測するが、その際、必ずしも箱モノとしての児童館が必要ではなく、児童館的機能を既存の市有施設を複合化・多機能化する中で、あるいは地域で既に行われている子ども向けの市民活動などと連携して組み込んでいく視点が必要と考える。ぜひ、児童館的機能の拡充を前向きに検討して欲しい。

### 服部天神駅周辺整備の推進を要望

#### ★時期を逃さない取組みを！

Q. 服部天神駅周辺整備の今後のスケジュールは？

A. 地権者の近接移転が可能な土地区画整理事業を活用し、33年度から34年度にかけて、移転補償交渉などを行い、最遅で平成36年度の事業完了を目指している。



Q. 服部天神駅前整備が大きく進んでいくとしている今、都市計画道路服部利倉線について本格的に取り組みタイミングではないか？

A. 大阪府に確認をしたところ、「多数の権利者の合意形成と、多額の事業費を要することから、当面の事業化は困難」とのこと。市としては、今後、服部天神駅前広場の整備に合わせて、都市計画道路と駅前広場の接続について、大阪府と協働・調整を行う予定であり、駅西側の区間については、駅へのアクセス路の観点からも、引き続き早期整備を要望していく。

(要望) 都市計画事業は長期的視点で取り組まなければ進まない事業である。ぜひ、タイミングを逃すことがないように、市の事業進捗に併せて取り組みを進めてもらうよう府に積極的に働きかけて欲しい。

### 豊中市議会 無所属の会

おおまち 裕次  
ゆうじ



ふくおか 正輝  
まさき



きたのほう 晋次  
しんじ



かんばら 宏一郎  
こういちろう

